

愛知県立刈谷高等学校入学式が挙行される！

4月7日（月）、高校69回生となる新入生が、桜の満開の門を元気にくぐりました。

入学式では、最初に、10クラス400名の新入生に対し、斎藤昭宏校長から入学許可がされました。続いて、刈高生としてスタートする生徒達に、「何事にも積極的に取り組み、新しい自分を創って欲しい」「謙虚さを学んで欲しい」「一人ではない、ということを忘れないで欲しい」とこれからの学校生活の心構えを呼びかけられました。さらに、初代校長羽生隆先生の「イートンに学べ、東洋のイートンとなれ」の教えを創立の心とし、校訓「質実剛健」を掲げ、「文武両道」を体現して多くの夢をもって本校の年輪を刻んできた先輩に続いてほしい、と式辞を述べられました。

この呼びかけに対して、新入生を代表して村上恵太郎くんが力強く代表の「宣誓」を行いました。

P T A 代表の亀島昭次様の御祝辞では、刈高祭の合唱や体育祭の応援合戦では、個々の能力を生かし、クオリティの高いパフォーマンスを披露しているが、これらは全て生徒自らが企画し演出していること。この伝統は、刈谷高校がSSH指定校として目標とする「豊かで持続可能な社会の形成者」「先端科学技術を応用できる人材」「国際社会で活躍できるリーダー」の育成につながり、地域に根付き地域の皆さんに見守られている学校であることを強調されました。さらに、良きライバル、良き友をたくさん作り、人生の大きな財産とし、刈高という土俵の真ん中で将来の夢や目標にチャレンジしてください、とエールをいただき厳粛のうちに入学式は終わりました。

